

## 旧八幡図書館の記念碑について

### 1 記念碑の制作理由

旧八幡図書館を解体するにあたり、長年市民に慣れ親しまれてきた建物であることから、旧図書館で使用していた部材を活用した記念碑の制作を検討することとした。

### 2 記念碑のコンセプト

- 旧図書館の敷地付近に設置し、旧図書館がそこにあったことを想起させるようにする。
- 旧図書館に使用されていた2種類のレンガを活用するとともに、旧図書館の概要を紹介する記念碑とする。

### 3 記念碑の設置場所

新病院への来院者や新病院の前面道路の通行者からわかりやすい場所とすること、また、旧図書館の出入口部を新病院の歩行者出入口の1つとして整備することから、その出入口に接して記念碑を設置する。

### 4 記念碑の構成

#### (1) 記念碑土台

- 旧図書館が長年市民に親しまれた建物であり、外壁に使用されていたレンガが特徴であることから、解体時に保存している2種類のレンガ（約1,000個）を活用して記念碑を制作する。
- レンガを貼り付けた記念碑の土台に、旧図書館の概要が分かるように、外観写真等を記載した説明板を設置する。
- 2種類のレンガの配置については、4種類の案から、図書館利用者等に投票していただく（投票の詳細については別紙を参照）。

#### (2) 説明板

- 外観写真のほか、建物概要を記載する。
  - ・建物建築年
  - ・建物の特徴
  - ・設計者村野藤吾氏のプロフィール

等

## 旧図書館記念碑の

### レンガ配置を決める投票について

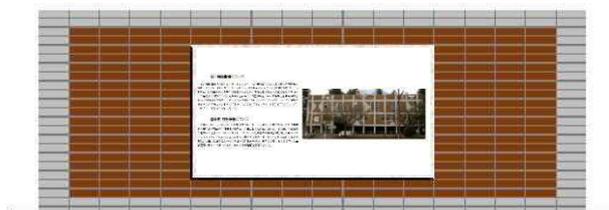
- 下記4種類のレンガ配置案から選んで投票していただく
- 投票は八幡図書館及び八幡東区役所で実施する
- 投票は無記名とする（ただし、年齢や居住区程度は記入）
- 投票期間は10月の約1ヶ月間とする

記念碑 ①案

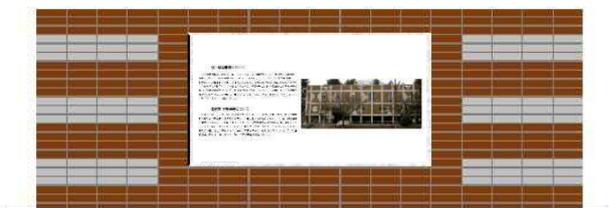
約 4.2M



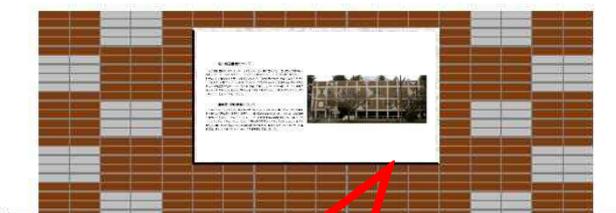
記念碑 ②案



記念碑 ③案



記念碑 ④案



### 説明板のイメージ

#### 旧八幡図書館について

旧八幡図書館は、昭和24年（1949年）に八幡東区役所、旧八幡市役所跡地に建設された。戦後の復興期に、地域の文化振興と市民の読書普及を目的として、当時の先進的な建築技術を取り入れた。建築家村野藤吾の設計による、レンガとコンクリートの組み合わせが特徴的な外観を持つ。この建物は、地域の歴史と文化を象徴する重要な遺産であり、その保存と活用が今後のまちづくりにとって不可欠である。

#### 建築家 村野藤吾について

村野藤吾は、昭和初期の建築界で活躍した著名な建築家である。彼は、西洋建築のスタイルを取り入れつつ、日本の伝統的な要素を融合させた独自の建築スタイルを確立した。旧八幡図書館は、彼の代表作の一つとして、その建築的才能を遺憾なく発揮している。彼の設計によるこの建物は、地域の歴史と文化を象徴する重要な遺産であり、その保存と活用が今後のまちづくりにとって不可欠である。

